

RPPC メールマガジン 第 777 号

リサイクルポート推進協議会（令和元年 6 月 5 日）

■RPPC 事務局からのお知らせ

先日開催された「リサイクルポート推進協議会 総会」は滞りなく終了いたしました。

ご出席を賜りました会員様、並びに委嘱状をご返信いただいた会員様に心より感謝申し上げます。

<総会出席者ご報告>

- ・ 総会 83 名
- ・ 会員交流会 67 名

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. みなと総研、「新みなとまちづくり宣言」を公表

（一財）みなと総合研究財団（みなと総研）は 5 月 31 日、わが国の新たなウォーターフロントづくりに向けた「新みなとまちづくり宣言」を取りまとめ公表した。昨年 1 月に「新みなとまちづくり研究会（座長・篠原修東京大学・政策研究大学院大学名誉教授）を設置し、これまで議論を重ねてきていた。既存ストックを活かし、我が国独自の「みなとまち」を形成していくことで、

定住人口・交流人口の拡大、地域再生につなげる方策を示している。

新しいみなとまちづくりの方向性では、

▽民間による水辺空間の有効利用、

▽みなとの再生による地域全体の価値向上、

▽一定の公的計画によるコントロール、

▽みなとと背後のネットワーク化、

▽水辺空間の有効利活用、等を挙げている。

同研究会は今年度も継続し、具体化に向けたガイドライン作りや意欲ある自治体を募り、ケーススタディも開始したい考え。

2. 苅田港湾事務所、苅田港新松山の泊地浚渫を促進

九州地方整備局苅田港湾事務所は、苅田港新松山地区の水深 13m 岸壁（延長 260 m）の早期供用に向けた泊地浚渫を進めている。当面は暫定水深 10m の確保を目標に

している。現地では昨年度に初弾工事として約 40 万立方mをポンプ浚渫する工事を東洋建設と契約、翌債により今年 7 月までの工期で施工中で、今年度もグラブによる浚渫工事を新たに追加実施していく。

今年度工事は同隣接部を対象に 3 件を予定しており、現在第 1 次浚渫工事を手続き中。近く第 2 次工事も公告する。今年度の浚渫工事は土捨て場の容量の関係からグラブで実施する。

苅田港新松山地区の公共ふ頭は直轄で水深 13m 岸壁と 12m 岸壁、福岡県が 10m 岸壁等を整備する。これまでに直轄の水深 13m 岸壁本体が概成しているほか、県が 10m 岸壁を事業中。

3. 岩国港臨港道路、2 期区の早期完成目指す。室の木地区は詳細設計へ

中国地方整備局宇部港湾・空港整備事務所は、岩国港臨港道路整備第 2 期事業区間として今年度は 3 号橋の橋脚工事を促進するほか、立石側の陸上部となる擁壁等工事の進捗を図る。

また第 3 期事業区間の立石地区と室の木地区を繋ぐ 4 号橋、並びに室の木地区内の陸上高架橋梁区間についても順次詳細設計等の作業に入っており、関係者との協議を進めながら着工へのタイミングを計っていく考え。現状見通しでは、立石地区までの第 2 期事業区間の供用に見通しをつけた上で着工していく方針。

岩国港臨港道路は装束地区から室の木地区を結ぶ全長 2・9 km で、現在は 2 期事業区間として新港地区から立石地区までの延長 400m の 3 号橋、並びに立石地区陸上部工事を施工している。

また今後は第 3 期事業区間となる立石地区から室の木に渡る海上部橋梁（4 号橋）、並びに室の木地区内の陸上部（延長約 1・08 km）にも入っていく。

4 号橋は、橋長 229m の鋼 4 径間連続合成少数钣桁橋として計画しており、橋脚基礎は鋼管矢板井筒、陸上部は場所打ち杭構造。昨年度に詳細設計を契約して作業中。室の木地区内の陸上部高架橋（5 号橋）についても昨年度、立地企業と協議を進めながら基本設計を行っており、今年度には土質調査や一部区間を対象にした詳細設計も予定している。

【港湾空港タイムス 6月03日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：丸岡 裕人 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：外山、清水、安田

URL：<http://www.rppc.jp/> E-mail:rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください。